

村章

広報

# なまじん

毎月1日発行

1990年

6月

No. 175



## 乙羽岳に県内有数の キャンプ場完成

森林公園として整備が進められている乙羽岳にこのほどキャンプ場が完成した。

キャンプ場は三千九百五十七・八平方メートルの敷地にテント設営地、炊事場、野外卓、丸太遊具、トイレ、林間歩道、電気導入施設などがあり、県内有数の森林キャンプ場としてその活用が期待される。

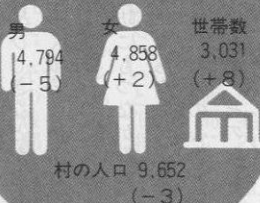
総工費は四千六百六十九万九千三百三十円。キャンプ場には十人用テント二〇式が準備されており一度に二百人が利用できる。

乙羽岳頂上からは沖縄海岸国定公園が眺望でき古宇利島、嵐山、羽地内海をはじめ八重岳、伊是名、伊平屋、与論と三六〇度の大パノラマが展開される。

夜は満天の星の輝き、季節によっては天気がいいと、南十字星も観ることができる。自然の豊かさにふれる機会をあなたもお持ちになりませんか。

利用ご希望の方は役場経済課電話五六二二一〇一（内線三五）までお申し込み下さい。

今帰仁村の人口  
平成2年4月30日現在



# 老後は楽しく生き生きと

## 第19期 北山老人大学開講

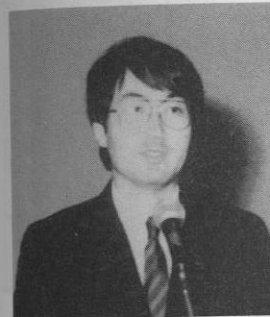
四月二十六日午後二時から村  
コミュニティセンターにおいて  
第19期北山老人大学の開講式が  
行われた。

開講式には村内の老人クラブ  
の方々四百五十四人が出席。  
式で学級長の宮里政典氏は、  
お互いの心のふれあいを大切に  
し、教養を高め老人の果たす役  
割が大きくなっていく地域社会  
の活性化に貢献するよう努めま  
しょうとあいさつ。



宮里政典学級長

- ① 食事を腹八分いただきますように。
- ② 睡眠は十分にとりましょう。
- ③ 適度な運動をしましょう。
- ④ 積極的に新しいことに関心をもちましょう。
- ⑤ 社会の中で役割を持って働きましょう。
- ⑥ 何ごとも自分の手でするよう心がけましょう。
- ⑦ 友達づくりを大切にしましょう。
- ⑧ 身体と心の健康十ヶ条を語り、北山老人大学がより発展していくためにも、まず健康であることが大切と強調された。



講演する東朝幸先生

また、村老人クラブ連合会会長の宮里政典氏は、「北山老人大学は他市町村にはないすばらしい取り組みであり、今婦仁村の誇りである。人生八十年代を迎え老人みずから生きがい高めよう。」とあいさつ。

地域に貢献することを目指してがんばりましょう」とあいさつ。ひき続き「ボケにならないために」と題して名護保健所予防課長東朝幸先生を講師に迎え講演が行われた。

講演では、(一)ボケとは、(二)ボケの症状について、(三)ボケの予防についての三点を中心に説明。

(一)ボケとは、医学用語では痴呆というが生まれつきのものではなく、脳に何らかの障害がおこり元来持っている知能が低下していく状態をいう。

(二)ボケの症状としては、一般的にすぐ物忘れといわれるが単なる物忘れだけではボケとは言わない。

しかし物忘れが日常的なこと、例えばご飯を食べたことをすぐ忘れるとか、今住んでいる所を忘れる、あるいは時間や身内の顔を忘れるといった基本的なことを忘れてしまうような場合はボケの疑いがあるとみただけがよい。

またボケの人とそうでない人の違いは自分が忘れていくこと

を認識していないことである。だから被害妄想になってしまったり、むやみに歩き廻るといったことが起ったりする。

(三)ボケには治るボケと治らないボケがあるが、治るボケを予防するには、塩分を控えること、お酒やタバコを控えてバランスのとれた食事を取ることで、六十歳以上からは脳血管障害が起りやすく、動脈硬化、高血圧などの予防をすることが必要である。そのためには、働きすぎや疲れに注意し、あまりよくよくしないで精神的に明るく楽しくすごすことが大切。

健康で明るく楽しい老後のための「大学」開講である。ストレッチは体に大きな影響を与える。

また適度の運動をして血行をよくすることに よって動脈硬化を予防すること。日頃からこころばないよう心がけることも大切である。

老人がこころで骨折すると二〜三ヶ月寝たきりになることが多く、その二〜三ヶ月の間に四割の人がボケる

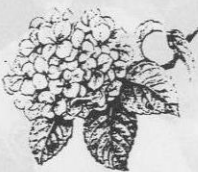


牛乳やひじきなどからカルシウムを多く取るよう心がけ、骨折しにくい体をつくることはボケの予防にもつながるのである。ボケにならないで老後を過ごすことは私たちの心からの願いでありますが、そのためには何よりも常日頃からの予防が大切である。

もう一度自分自身の生活を顧みて予防に心がけ健康でますます楽しく長生きしてほしいと東朝幸先生は講演で語った。

# 商工会 青年部 総会

## 地域とともに歩みさらなる発展を



### ▲新年度事業、予算を討議



総会後の懇親会ではギター片手にアロ顔まけの玉城薫さんのラテン音楽ヒットメロディから平良民枝さんの心に染みる「友よ」まで楽しい一時をすごしました。



— 我ら青年部の情熱を地域発展へのスローガンのもと四月二十八日午後七時から第十二回今婦仁村商工会青年部通常総会が村商工会館で開催された。



▲花束を手渡すパンピ組の子供たち

日進月歩の発展を遂げる郵便業務の取扱量は昭和六三年現在全国で二百三億通、一人当たり百六十六通、そのうち沖繩は一億通、一人当たり八十五通、全国平均からするとウチナンチュは多少筆無精の子供たちは大喜び。

# 第五十七回 通信記念日

## 北山保育園パンピ組の園児より花束の贈呈

日本の近代的な郵便制度が発足したのは、明治四年(一八七一年)三月一日、前島密によるものといわれる。前島は信書を国内に、あまねく公平に安い費用をもって、速やかに送達するため非常な情熱と創意を注ぎ郵便制度の実現に努力した。

年この新式郵便制度発足の日を記念して、毎年四月二十日を通信記念日と定め、今年も第五十七回の通信記念日を迎えたことになる。

ようである。私たちは何かにつけて電話で用を足してしまいがちであるが、手紙のもつ温かさは受け取る人の心に残るもの。

通信記念日に際し郵便の歴史について少し触れてみたが、私たちが手紙の良さを再認識するよい機会ではないだろうか。

通信記念日の四月二十日、北山保育園(与那嶺清子園長)パンピ組のかわいい園児二十四人が今婦仁郵便局(諸喜田峯夫局長)を訪れ、日頃の郵便業務に感謝し局員一人ひとりに花束を贈った。園児たちは、「これからもお手紙を届けるお仕事がんばって下さい」と元気よく声をかけ花束を手渡した。

与那嶺園長は「納涼まつりや運動会、卒園式の案内通知をはじめ日頃から郵便局に大変お世話になっており感謝の気持ち少しだけでも伝えたいと花束を贈りました。これからもお世話になりますのでよろしく願います。」と語られた。その後郵便局員から一人ひとりにプレゼントがあり

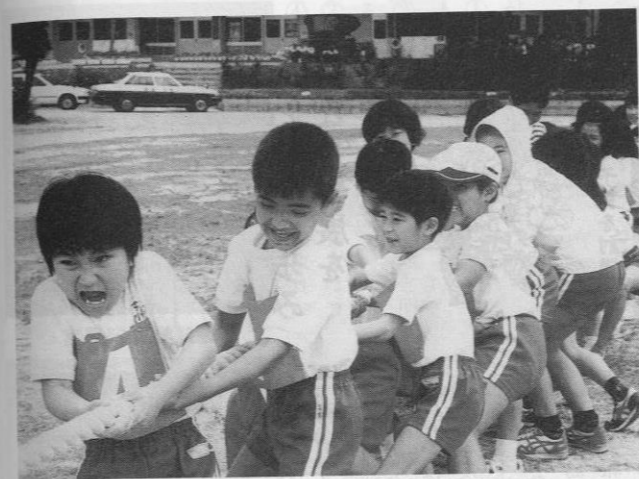


# 区民運動会と学事奨励会

仲宗根

子供たちの成長と区民の融和願

仲宗根の第五回区民運動会が四月二十九日午前十時から今帰仁中学校グラウンドで行われた。運動会は学事奨励会を兼ね、子供達のすこやかな成長と学力向上を願うとともにスポーツを通して健康で幸福な家庭、地域づくりをめざし開かれたもので約四〇〇人が参加。入場行進のあとあいさつに立った三輪昌子区長は「一昨年、



▲力のかぎり綱を引く子供たち

昨年と天気恵まれず体育館での開催でしたが、今年は晴天のなかのびのびと力いっぱい競技できます。オリンピックは参加することに意義があるといわれます。私達も小さい子供から高齢者の皆様まで競技や踊りに参加し、今日一日楽しく爽やかな汗を流しましょう」と語った。席上、来賓として参加した上間博安村長は「各団体の一致協力した活動に敬意を表します。この連帯と融和が仲宗根にとどまらず今帰仁村全域の学力向上と地域発展に生かされるよう切に希望いたします」とあいさつ。

このあと保育園園児と小学生のかけっこ、老人クラブの玉入れ川東、川西全員参加の綱引き、向上会のリームまわし、消防団

リレー、婦人会による踊り、小学一年生から六十代までの年令別リレーなど二十一種目に熱戦が繰り広げられた。午後から行われた学事奨励会で謝花恒義今帰仁小学校長は、「昨日より今日、今日より明日がなばって勉強しましょうね」と子供達に話しかけると元気よく大きな声で「はい」と返事があつた。父兄には「子供は家庭でつけられ、学校で教えられ、地域で磨かれて成長します。

今帰仁小学校では、毎日読書の習慣をつけようと朝読み、夕読みを奨励しています。それに月曜日に国語、木曜日に算数のテストを実施し児童の学力を適格に把握、指導しています。学力向上と基本的な生活態度、しつけは車の両輪のようなものです。学校でも努力しますので家庭においてもあいさつから家族間の対話、勉強と進めていた「だいたい」と語り激励。つづいて子ども会(鳥袋冬子会長)とPTA(与那森男会長)の紹介があり、これから一生懸命がんばりますと力強い誓いの言葉があつた。

## 山形テレビ開局二十周年記念特別番組

民宿まるやの山城さん夫婦出演



▲山城さん夫妻と「いちはなり節」を踊った皆さん

今帰仁村と山形県酒田市とその周辺の町では恒例となった「リゾート大学沖縄酒田村」を通し友好を深めています。この度、山形テレビ開局二十周年記念特別番組「地球大好きまるや」が大好き」と題して、四月一日午後一時三〇分から山形と沖縄残波岬ロイヤルビーチを結び衛星生中継によるテレビ放映が行われた。

山形県からは、今年二月「リゾート大学沖縄酒田村」で今帰仁にいらしたつた駒場紀夫さん(東大町三丁目自治会長)が出演し、先の大戦で沖縄で戦死した父親のゆかりの地で念願の供養ができたこと、村コミュニティセンターで行われた歓迎の夕べで山形県の歌を歌ったことなどの思い出について語った。今帰仁からは民宿「まるや」の山城義秀・節子夫妻が出演し久しぶりの対面をした。駒場さんは「まるや」での心温まるお別れパーティがとても印象深く、心に残っていると山城さん夫妻と楽しく対談。その後、喜納苗子、西平ツル、照屋安子、小那覇郁子、内田悦子、富平節子の皆さんによる琉球舞踊「いちはなり節」が披露された。

## 第8回 ソフトボール大会 優勝

沖縄光武病院職域 湧川マリーズ・同好会

一広く村民の間にスポーツを振興させアマチュアリズムとスポーツ精神の高揚を図り、あわせて村民の健康を増進し、生活をより明るくより豊かにすること一を目的に四月二十二日総合運動公園サブグラウンドで始まった今帰仁村ソフトボール大会は五月一日午後六時三〇分から決勝戦が行なわれた。職域の部は光武院長を中心して勝る沖縄光武病院が九対五で役場OBチームを下し四度目の優勝。



▲沖縄光武病院チームワークで四度目の優勝

ズが玉城チームを下し初優勝した。各賞は次のとおり。

**職域の部**

- 殊勲賞—玉城伸夫(光武病院)
- 敢闘賞—平安常康(役場OB)
- 打撃賞一位—嘉数治樹(光武病院)、二位—玉城治男(光武病院)

**同好会の部**

- 殊勲賞—嘉陽直樹(湧川マリーズ)、○敢闘賞—平安常弘(玉城チーム)、打撃賞一位—澤正樹(湧川マリーズ)、二位—澤博光(湧川マリーズ)

## おとば学園に 善意のユニホーム

匿名の寄付で実現

四月十日三十代の女性が村コミュニティセンター内にある障害者授産訓練施設おとば学園(松田幸福園長)を訪れた。女性の方は園生が木工制作や野菜、サトウキビ、サツマイモなどの栽培、観光地の清掃と障害のハンディにめげず生き生きと活動しているのを見聞き、いろいろなと教えられました。少しでも役立てばと名前も告げず四万五百円の寄付をされた。園生と園長、指導員の先生方が話し合い、以前からほしいと話していたユニホームを買うこと

五月二日ユニホームが新調され、子供の日にまでに届くよう望んでいた願いがかなない園生は大喜び。おとば学園ではユニホームを外出にすることを、指導員の運天初子、金城幸代両先生はおとば学園に対しご理解とご支援をいただき心から感謝いたしますと語っていた。



▲子供の日にあわせてユニホームが届き喜ぶおとば学園の皆さん

## 募集

### 今帰仁剣道教室

今帰仁剣道教室では今年も例年通り会員を募集します。小学1年生以上の方が対象です。

入会ご希望の方は剣道教室父母の会までご連絡下さい。連絡先は役場水道課・内間繁樹(56-2101内線42)か直接練習会場の今帰仁小学校体育館までお越し下さい。なお今回から高校生以上の方を対象に居合道の会員も募集します。(申し込みは6月中)

練習は毎週土曜日午後3時から5時まで行ないます。女性の入会大歓迎。会費は保険料込みで年間千円。

## 国税NEWS

沖縄国税事務所からのお知らせです

### ◎税に関する高校生の作文募集

国税庁をはじめ沖縄国税事務所、税務署では、高校生の皆さんを対象に、毎年税に関する作文の募集や租税教室の開催、租税に関する副教材の配布などを行っていますが、今年も全国の高校生の皆さんから税に関する作文を募集します。奮って応募してください。

- ・高校生であればどなたでも応募できます。
- ・税について、日頃考えていることや意見など、税に関するものであれば何でも結構です。
- ・優秀作文には賞状と記念品を贈呈します。

詳しくは、最寄りの税務署にお尋ねください。





# 健康・体力づくり講習会



▲講演する伊狩典子先生

健康・体力づくり講習会が四月二十八日村コミュニティセンターにおいて村教育委員会、健康づくり推進協議会の主催で行われた。

開会式で西島一将教育長は「生涯を通して健康で豊かな生活をした」との思いは、すべての人の共通の願いである。自分の健康は自分でつくるという気持ちでこの講習会を通して学んだことを日常生活に生かして欲しい」とあいさつ。

その後那覇市小禄老人福祉センター所長の伊狩典子先生を講師に迎えて「食生活と健康」と題し講演が行われた。伊狩先生はラジオ沖縄の方言ニュースも担当しており今回も流暢なウチ

ナーグチで講演。夫を病気で亡くされたことを通して健康がいかに大切であるか、健康で長生きするためには日頃からの心がけが必要で心と体が伴ってこそ本当の健康であると語った。

人生八十年代と言われる現代老後を健康でより豊かに過ごすために日頃から「医食同源」と心得て食生活に気をつけ病

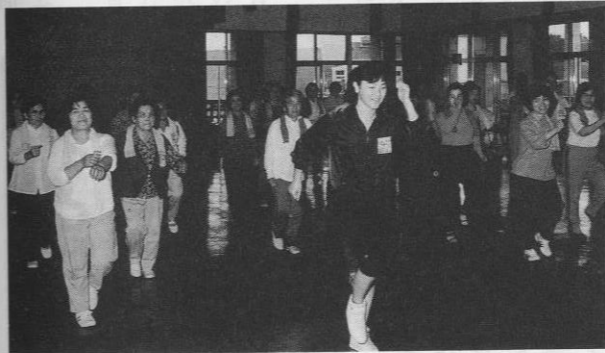
気にならないようにしましう。すぐ薬に頼るのではなく毎日の食事から栄養を取る工夫が必要。

何でも便利なものが氾濫している世の中、手間隙かけずにおいしいものが食べられることはとても良いことである。しかしながら健康で長生きするためにはバランスのとれた食生活がなにより。むかしながらのウチナー料理は味、栄養の両面からとても良いとの評価を得ており、一週間の献立の中に少なくとも数回はフーチパージュリーシーやアシテ

ピチ（コラーゲンが豊富に含

まれている）などの料理を取り入れるとよい。  
長寿の秘訣は(一)睡眠と休養。(二)バランスのとれた食事。(三)規則正しい生活である。伊狩先生はこの三つのポイントをしつかり踏まえ継続していくことが健康で長生きすることにつながる」と語った。

▲大城江梨子さんの指導で楽しくエアロビクス



## 村の代表監査員に

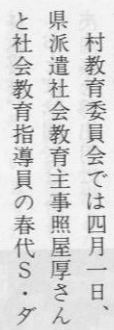


▲比嘉 正弘氏

比嘉正弘氏が就任  
七七番地・六十三才）が選任され四月一日付で就任した。  
比嘉氏は「前任の田場盛善氏と議会選出の宮城康吉氏のご指導を仰ぎながら監査事務局の皆さんとも連携し任務の遂行にあたり村の発展に尽くしたい」と抱負を述べた。

## 社会教育の充実をめざし

照屋厚さん、春代S・ダッパーさん着任

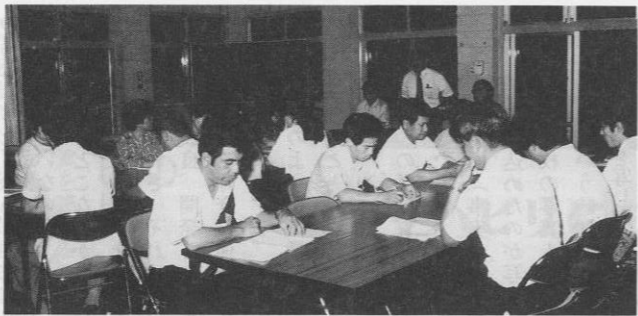


▲春代S・ダッパーさん ▲照屋 厚さん

昭和五十三年四月一日から平成二年三月三十一日まで三期十二年村代表監査員として村勢発展にご尽力された田場盛善氏にかわり、比嘉正弘氏（勢理客二）が就任。  
同氏は今帰仁村農業協同組合沖繩県経済連名護事業所購買部長、(株)沖繩緑化センター管理部長を歴任され今帰仁村代表監査員に就任。  
抱負を述べた。

また英語に堪能なダッパーさんは社会教育の充実が叫ばれる今日、担当している家庭教育学級、乳幼児学級の活性化を図るよう頑張っていきたいと語った。ふたりの着任で社会教育のより一層の充実が期待される。

# 子供会連絡協議会総会



▲子供たちのすこやかな成長について語り合う

事業計画・予算・役員決まる

承認された。新執行体制と事業計画は表のとおり。

## 主な事業計画

月日	事業名
五月	総会
六月	ジュニアリーダー総会
七月	ジュニアリーダー、育成者、指導者
七月	キャンプ研修会
八月	子ども会宿泊研修会(石川)
九月	九州地区ジュニアリーダー大会(宮崎県)
十月	九州地区子ども会育成研究協議会(熊本県)
十一月	ジュニアリーダー役員子ども会役員合同研修会
十二月	全国子供中央会議(那覇市)
二月	第九回村子どもまつり
三月	県子どもまつり

## 新役員

役名	氏名
会長	三輪 茂徳
副会長	嘉陽 宗敬
副会長	仲尾次 吉澄
事務局	照屋 厚
監事	伊良波 幸雄
監事	諸喜田 展生
書記・会計	金城 睦

## 過疎地域活性化特別措置法の指定決定

過疎地域振興特別措置法が平成二年三月三十一日で失効となり、それに代わって、平成二年四月三十一日から過疎地域活性化特別措置法がスタート致しました。本村は同法の指定を受け、過疎地域活性化計画の策定作業を行なっております。村民の要望する事業も検討していきたいと思っておりますので、各字の区長さんを通して企画財政課へ申請して下さいますようお願い致します。

申請の締め切りは平成二年六月十一日(月)と致します。

※詳しくは、村役場企画財政課 企画係(電話五六一一二五五)までお問い合わせ下さい。

## 兼次中同窓生野球大会

三十一期生二度目の優勝

第二十七回兼次中学校同窓生野球大会(島袋宗弘実行委員長)が三月二十五日から四月二十九日にかけて兼次中学校で行なわれた。この大会は、同校の同窓生が親睦と団結を深め地域づくりに積極的に参加しようとして昭和五十一年八月第一回大会を開催。以来毎年全国高等学校野球大会終了直後の日曜日をかわきりに行なわれる。各同期生でチームを組み、毎回多くのチームが参加し大会を盛り上げている。

今大会は十八才から三十九才まで十一チームが参加、念願の優勝旗をめざして熱戦が繰り広げられた。

準決勝、決勝戦は四月二十九日実施。三十一期生が十八期生に1対0で、二十八期生が二十九期生に1対0とそれぞれ辛勝し決勝戦に進出。

優勝戦は島袋幸輝(三十一期生)、仲本満(二十八期生)両投手の好投のうちに試合はすすみ白熱したゲームの結果三対〇で三十一期生が勝ち昭和五十七年夏以来二度目の優勝を飾った。大会終了後閉会式が行なわれ優勝チームに真紅の優勝旗とトロフィー、準優勝チームにトロフ



▲殊勲賞の島袋幸輝選手を胸上げるナイン



# 写真にみる今帰仁 ① 今帰仁村のある風景

この写真は「琉球建築大観」(琉球建築大観刊行会、昭和十二年初版)に掲載されている今帰仁村内の写真である。写真の説明では、「国頭村今帰仁村某氏宅」とあるのみで、村内のどの場所にあたるのか、まだ確定するに至っていない。

今帰仁村のどこなのかについては、懐かしさと素朴さ、それにリゾート、土地改良、開発という声がかかってくる昨今、何か訴えているような気がする。時代の流れで、このような風景に戻るあるいは戻すことはないだろう。

写真も一つの歴史資料であると強調してきた。まさしく、ある歴史的な場面(事実)を時間とともに閉じ込めたのが写真である。この一枚の写真も昭和九年から十年という時間と、今帰仁のある場所を写しだしている。

昭和十年頃の今帰仁村のある風景写真に、近くの家・遠くの家・道路・松・キビ畑・イモ畑・芭蕉・ソテツ・チニブなどが写されている。

手前に茅葺のウブヤー(母

屋)があり、向う側にトウングワ(台所)があり、二棟造りになっている。台所の向い側には、ブル(便所)か畜舎とみられる茅葺き小屋がある。そのような建物の配置が、今帰仁村に限らず山原では一般的であった。遠くにもウブヤーとトウングワが別棟になった二棟建ての家がみえる。

ウブヤー(母屋)とトウングワ(台所)の屋根は、一部葺き替えがなされており、新しい茅が立てられており、屋根の修復がなされたばかりか、あるいは修理中のようなのである。屋根にかけられた竹竿は、洗濯物を干す竿というより屋根の上に茅や道具をあげるのに使われたであろう。

家の右側にチニブ(綱代)が立てかけられている。ヒンパン(中垣)に使っていたのが、支柱が朽ちて家の横に置いてあるのだろうか。

屋敷に植えられた芭蕉は、今帰仁ではトローウと呼ぶが、シマバナナ(島バナナ)なのか、それともナチジンウバサ



▲昭和10年頃の今帰仁村のある風景

(今帰仁芭蕉布)の織維をとる芭蕉の回りの小さな丘に自生なのか、あるいは人工的に植えられた蘇鉄がみられる。蘇鉄は、

近世から戦後まで、何度も飢饉から村の人たちを救った。特に大正から昭和の初期にかけて、不況が続く、村人たちは蘇鉄からとれる澱粉で苦境をしのいだことがあった。この写真が撮影されたのは、その時期より少し後のことである。戦後も、蘇鉄の澱粉を食糧やミソなどに利用した。今では、食糧として振り

向かれもしないが、鑑賞用として庭や鉢に植えられている。素朴な農村風景が写しだされているが、やはり砂糖キビが目立つ。当時の砂糖製造は、牛や馬を使って鉄車で圧搾していた時代である。ムラのポイントにいくつかサターヤヤーがあり、共同で利用した。今でも、イリムティサターヤヤーや「…サターヤヤー」など、地名として残っている。

左手に見えるのは、イモ畑だろうか。白い米を口にするのは、年に指折り数える程の回数しかなかった。そんな時代の主食はイモであった。

遠くにみえる道は、松の森のワイトウイを通りぬけていく。今帰仁に松がよくにあう。大木はみえないが、それでも松の作り出す風景は美しく印象深いものがある。

昭和十年頃の写真から、いくつかの情報を読み取って見た。場所が確定できると、もっと多くの読み取りが可能である。写真に写しだされたほんの一場面であるが、その読み込みによって様々な歴史資料としての、さまざまな情報を豊富に提供してくれる。

仲原 弘哲  
(歴史資料館準備室)

## 保健婦室だより

お気軽にご相談を!

### リハビリについて 考えてみよう

めてもあとに後遺症を残すことも少なくありません。後遺症をいくらかでも防ぐには、早期からのリハビリを行うことが第一に必要です。以前は、手足がマヒして、寝たきりでの生活を送る人が多かったが、リハビリを行なうことにより、かなりの機能を回復し身の回りのことや歩行も可能になってきました。また、初期の訓練をしないと、実際の病気の為におこすマヒ以上の機能障害が加わり、本来は、歩けるようになるはずの患者さんを寝たきりの状態にさせてしまうことも多いのです。これを防ぐには運動訓練が必要です。

### 残された能力をフルに生かす

また、努力したにもかかわらず、マヒが残る場合もあります。残された手足を最大限に活用し、社会・家庭へ復帰することは大切なことです。リハビリは地道な努力の積み重ねが必要ですが、これを行うことにより、脳卒中で寝たきりになることを防ぎ、又、大部分の人は、マヒという障害が残っても社会・家庭生活に復帰できるものなのです。より豊かな人間性をめざし、充実した毎日を送るためにとむにがんばりましょう。

### 脳卒中のリハビリ

さわやかな風を感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。役場では、老人保健法にもとづき昭和60年より機能訓練を行っています。今まで20人の方が参加され、現在、6人の方が毎回訓練にがんばっています。そこで、今日は、リハビリの必要性について掲載しました。

### なぜリハビリが必要か

三大成人病の一つと言われる脳卒中は、幸いにも命をとりと

### 機能訓練のお知らせ

**目的** 心身の機能、維持回復を図るために必要な訓練及び日常生活の自立を助け、お互いの親睦を図る。

**対象者** 四十才以上(希望すれば四十才以下でも可)で次のいずれかに該当する人。

- 1) 退院後も継続して訓練を行なう必要のある人。
- 2) 心身の機能に支障があるにもかかわらず必要な訓練を受けていない人。
- 3) 老化等により心身の働きが低下している人。

**訓練内容** (7) 歩行、起き上がり等基本動作の訓練、レクリエーション及びスポーツ。

**申し込み** 役場厚生課、電話五六一二一〇一(内線二二)

**実施月日** 月二回第二・四水曜 日午後一時~午後三時三〇分。

**実施場所** 今帰仁村コミュニティセンター機能訓練室。

### タックスコーナー

## 税について

### 考えてみませんか

#### No. 1

**村** が仕事を行うためのお金の収支を財政といい、収入を歳入、支出を歳出といいます。歳入には私たちが村に直接納める村税のほか、国や県から村の行う仕事に対して出される国庫支出金、どの市町村も一定水準の仕事ができるよう国税の一部が配分される地方交付税、借入金である村債などがあります。

**そ** の中で自主財源と呼ばれる村税として、固定資産税、法人村民税、個人村民税、軽自動車税、特別土地保有税、村たばこ税等があります。

このコーナーは、これら村税についてわかりやすく説明しながら、私たちの暮らしと密接な関係にある税金の問題を皆さんで考えようというものです。



むらづくり  
まずはあなたの納税で

**左** 上のマークは通称税ちゃんと呼ばれています。納税百%のテープを切る様子は村の子ども達の未来への飛躍を表し、同時に村民総意の村づくりをめざそう、という願いが込められています。この看板を見た時に、税金の大切さを思っていただけでは幸いです。

**さ** て、村の昭和六十三年年度の徴税率は九八・七%で、県内九位の位置にあります。ところが、過去数年間の滞納分、申告の不充分さなど、まだ〳〵解決を要する多くの問題があります。そこで税務課でも近々「税の広報委員会」を設置するとともに「税の作文標語コンクール」を実施し、納税意識の高揚に役立てることにしております。

**村** 税を向上させることは、自主財源を潤すばかりでなく、地方交付税、起債、補助事業にも大きく影響するもので、税はまさに村づくりの基盤と言っても過言ではありません。

このシリーズを通して、税について共に考えてみませんか? この社会、あなたの税が



### あなたも応募しませんか

#### 第8回 今帰仁村少年の主張大会

- 主催 今帰仁村教育委員会
- 開催日時 7月8日(日)午前9時～12時
- 開催場所 今帰仁村コミュニティセンター
- 募集方法 村内の小学校5年生から高校3年生までの学校を代表する男女各1名を原則とする。
- 演題 次の中より一つ選んで発表する。
  - 郷土のために私のやりたいこと。
  - 私のうったえたいこと。
  - いま学校で考えていること。
  - いま家庭で考えていること。
  - こんな道を私は進みたい。
  - 私の夢。
  - いま、少年少女の非行問題で思うこと。
- 発表時間
  - 小・中学生 1人5分以内 (B4、400字原稿用紙4枚)
  - 高校生 1人7分以内 (B4、400字原稿用紙6枚)
- 応募方法 発表原稿を平成2年7月2日(月)までに村教育委員会に提出して下さい。
- その他
  - 発表原稿には学校名、学年、発表者名、演題を記すこと。
  - 応募作品は返却しないのでコピーで控をとって下さい。
  - 発表順序は主催者が抽選で決める。

※詳しくは教育委員会社会教育課 (電話 56-2645 / 56-2647) にお問い合わせ下さい。

### お・知・ら・せ

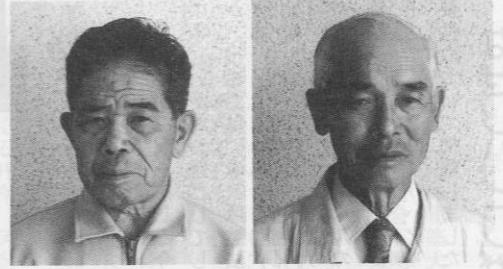
#### 第9回今帰仁村壮年ソフトボール大会

主催：今帰仁村教育委員会

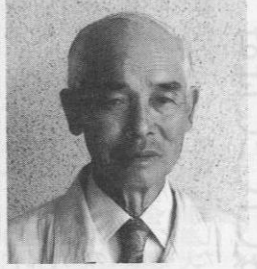
村教育委員会では、日頃スポーツに親しむ機会の少ない壮年を対象に健康の保持増進、愛好者の育成と参加者の親睦を目的に次の要項で開催します。

- 期日 平成2年6月24日(日)午前8時30分  
平成2年6月30日(土)
- ※準決勝以後の試合時間は監督会で決める。
- 会場 村運動公園サブグラウンド
- 監督会議 平成2年6月19日(火)午後7時及び抽選 於 中央公民館
- チーム編成
  - 参加資格は昭和25年までに生まれた者で、登録選手20名以内、監督1名とし、1字1チーム。ただし大きい字は2チームまで出場できる。
  - 年齢別人数は次のとおり
    - 40～44才(2人)
    - 45～49才(3人)
    - 50～54才(3人)
    - 55才以上(1人)以上
- 服装 トレパン着用とし、上半身は統一ユニホームでチーム名、背番号をつける。
- 申し込み 平成2年6月19日(火)午後7時までに村教育委員会にお申し込み下さい。

### ■ 崎山・玉城の区長さんかわる ■



玉城区長 宗栄さん



崎山区長 清松さん

#### お気軽にご相談下さい

#### 喜屋武和夫さんが 身体障害者相談員に



喜屋武和夫さん

身体障害者相談員に四月一日 県知事より、喜屋武和夫さん(仲尾次九〇番地)が委託されました。三年間身体障害者のよき相談相手として勤めてこられた伊佐トヨさん大変ご苦労様でした。喜屋武和夫さんは、今帰仁村

崎山の区長さんが四月一日、玉城の区長さんが五月一日それぞれ交代しました。崎山では、大城義雄さんから平良清松さんへ、玉城では、新城安昌さんから嘉陽宗栄さんになりました。新しい区長さんにみんなの協力をお願いします。

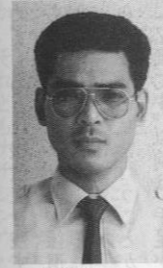
**新区長**  
○崎山 平良清松(崎山一〇九 電話一五六―三九一三)  
○玉城 嘉陽宗栄(玉城一三 電話一五六―三四八八)

役場に二十年勤務、九年間は厚生課勤務と福祉業務に明るい方です。

これまでの実績と経験からして身体障害者の相談員に適任の方です。どうぞお気軽にご相談下さい。

電話 五六―四四五七

#### 新採用です よろしくお願ひします



企画係 曾山 清巳

### 見|童|手|当|と|は

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。

#### 児童手当を受給できる人

昭和63年4月1日からは義務教育就学前の児童を含む18歳未満の児童を2人以上養育している方で収入が一定の額未満の場合に2番目の児童から支給されます。なお、自分のお子さんでなくても、その児童を監護し、一定の生計関係があれば受給できる場合があります。また、義務教育就学前の児童には、病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため就学困難と認められ、現に就学していない児童が含まれます。

#### 児童手当の額

児童手当は、2番目の児童には月額2,500円、3番目以降の児童には、1人につき月額5,000円が義務教育就学まで支給されます。児童手当や特例給付のことについて、おわかりにならないことや、お聞きになりたいことがあれば、村役場厚生課児童福祉係へお問い合わせ下さい。 電話 56-2101(内線40)

### 6月は現況届の提出期限です

#### 児童手当(特例給付)を受けている皆さん

児童手当現況届は、毎年1回すべての受給者自身が出す届です。この届は受給者の前年度の所得の状況と6月1日現在の養育の状況などを毎年1回確認するための届です。もしこの届を出さないと引き続いて受給資格があっても、6月以後の手当の支払を受けることができなくなりますので必ず提出して下さい。

なお届は下記の日程で村役場厚生課で受け取りますので、加入年金手帳、印鑑を持参して下さい。

日 時	午前9時～午後4時まで
6月13日(木)	今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次
6月14日(金)	崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根、玉城、呉我山
6月15日(土)	湧川、天底、勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利

### 全国町村会より表彰



玉城 之典さん 玉城 修さん 渡嘉敷 広栄さん

村役場の経済課長渡嘉敷広栄さん、建設課長玉城修さん、運天港港湾管理事務所長玉城之典さん。

表彰は三十年余にわたり村職員としてその職責をまっとうし、村をはじめ町村自治の発展に貢献した功績によるもの。

渡嘉敷広栄さんは昭和三十四年七月土木課技手として役場に入り、水道課長、建設課長、税務課長、平成元年二月から経済課長として現在に至っています。玉城修さんは昭和三十四年十月庶務課書記戸籍係として役場に入り、学校教育課長、農業委員会事務局長、平成二年四月から建設課長として現在に至っています。

玉城之典さんは昭和三十四年十月産業課林業指導員として役場に入り、経済課林業係長、経済課水産商工係長、平成元年四月建設課運天港港湾管理事務所長として現在に至っています。

### ご 寄 附

- 社会福祉に役立ててほしいと村社会福祉協議会に次の方々から寄附がありました。
- ◎金城秀一さん(仲宗根三九六)から父金貴さんの香典返しとして五万円。
  - ◎謝花恒義さん(湧川三二八)から妻富美子さんの香典返しとして二〇万円。
  - ◎西島光枝さん(仲尾次七〇〇)から夫光男さんの香典返しとして一〇万円。
  - ◎今帰仁書房の玉城澄子さん(仲宗根二六三)から日頃のご愛顧に感謝して一万円。
  - ◎野村流古典音楽の皆様から「リゾート大学沖繩酒田村」歓迎会の幕開け演奏謝礼から三万円。

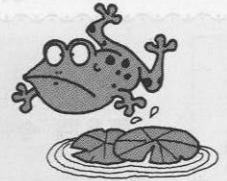




# ●村民カレンダー

1990年

# 水無月



<b>6/1</b> 金	○ことばの教室 (9:00~17:00コミセン)
<b>2</b> 土	○健康相談 (9:00~11:00保健婦室) ○村民芸術劇場 (東京ギターアンサンブル (18:00コミセン)) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)
<b>3</b> 日	○第6回レクリエーション大会 (9:00~16:00総合運動公園)
<b>4</b> 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
<b>5</b> 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○手話サークル勉強会 (19:30~21:00コミセン) ○環境衛生週間 (6月5日~6月11日)
<b>6</b> 水	○デイケア (13:00~16:00本部町) ○少年少女ミニバスケット (19:00中央公民館) ○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)
<b>7</b> 木	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○日本脳炎予防接種 (13:00~14:00コミセン)
<b>8</b> 金	○ソフトボール実技講習会 (18:30運動公園サブグラウンド) ○母子推進員定例会 (14:00~16:00) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)
<b>9</b> 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○健康相談 (9:00~11:00保健婦室)
<b>10</b> 日	○少年少女ミニバスケットボール大会 (8:00湧川小中学校) ○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場)
<b>11</b> 月	○ニコニコ教室 (14:00~16:00) ○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
<b>12</b> 火	○2才児歯科健診(13:00~14:00コミセン和室) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)
<b>13</b> 水	○リハビリ(13:30~15:00コミセン機能訓練室) ○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)
<b>14</b> 木	○高齢者学級 (14:00コミセン) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○日本脳炎予防接種(追加)(13:00~14:00コミセン)
<b>15</b> 金	○教育講演会 (19:00コミセン) ○1才半健診 (13:00~14:00コミセン) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)
<b>16</b> 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○健康相談 (9:00~11:00保健婦室) ○肉用牛セリ市 (11:00~家畜セリ市場)

<b>17</b> 日	○父の日
<b>18</b> 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
<b>19</b> 火	○2才児歯科健診(13:00~14:00コミセン和室) ○壮年ソフトボール監督会議 (19:00中央公民館) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)
<b>20</b> 水	○ニコニコ教室 (14:00~16:00) ○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)
<b>21</b> 木	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○狂犬病予防注射 (各字公民館)
<b>22</b> 金	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○狂犬病予防注射 (各字公民館)
<b>23</b> 土	○慰霊の日
<b>24</b> 日	○壮年ソフトボール大会 (8:30総合運動公園サブグラウンド)
<b>25</b> 月	○3才児健診 (13:00~14:00コミセン) ○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
<b>26</b> 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○手話サークル勉強会 (19:30~21:00コミセン) ○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場)
<b>27</b> 水	○リハビリ(13:00~15:00コミセン機能訓練室) ○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)
<b>28</b> 木	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)
<b>29</b> 金	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)
<b>30</b> 土	○健康相談 (9:00~11:00保健婦室) ○壮年ソフトボール選手権 (18:30~総合運動公園サブグラウンド) ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン)
<b>7/1</b> 日	○国頭郡野球大会
<b>2</b> 月	○婦人がん検診 (今泊~仲尾次) ○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)

■船酔いで振り返ることもできない私にとってはあのおばさんの元気があまりにも不思議で驚異的なパワーを感じずにはおれなかった。

■日頃の忙しさの合い間をぬって久米島へ出かけた時の一コマである。旅に出るといろんなことに遭遇する。それがまた楽しみである。

■大型連休もあつという間に過ぎて、いつもの生活のリズムが戻ってきた。

■高波にのって超スピードで走る真泊港からの高速艇「ブルースカイ」の中、あまりの揺れに船酔いで自分の悪くなる人が続出。ところがそんな周りの方々をよそにひとりの中年のおばさん、上船と同時に真中のソファにドカッと腰をおろしたかと思ふやいなや歌い始めた。

■演歌に民謡、想いを込めてせつせつと、休む間もなくである。

■エンジンの音がやけに響く船内をまるで伸びたテープをかけているのかと思わせるほど歌は続いた。

